## 1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 27 年 5 月 26 日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3490900150			
法人名	株式会社サンクリエイト			
事業所名	西町グループホーム			
所在地	広島県三原市西町一丁目10番8号			
1))11±4E	(電話) 0848-62-9531			
自己評価作成日	平成27年3月16日	評価結果市町受理日		

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リ	ンク先URL

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	(社福)広島県社会福祉協議会
所在地	広島県広島市南区比治山本町12-2
訪問調査日	平成27年4月28日

#### 【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点(事業所記入)】

- ・お一人お一人大切に見守り、声掛けを行い、ご利用者様の心に添って笑顔が見られる暮らしをしていただいております。
- ・地域の行事に参加させていただいたり、ホームの行事に参加していただいたり、地域の方々との交流を大切にしています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

西町グループホーム(以下,ホーム)は、三原城下の西国街道を南に入った住宅街の一角に位置しています。ホームでは、職員一人ひとりと向き合うために、「個別面談」の機会を設け、出された意見や提案を職場改善に反映させるなど、働きやすい環境づくりに取り組まれています。また、管理者は、ホームが地域の認知症専門施設の拠点としての役割を発揮できるよう、地域との信頼関係を築いていくための仕組みづくりに努力されています。

<u> </u>	₩₩₩		自己評価	外部	評価
自己 評価		項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
I 理:	念に基っ	「く運営(1ユニット)			
1	1	<ul><li>○理念の共有と実践</li><li>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業 所理念をつくり、管理者と職員は、その理 念を共有して実践につなげている。</li></ul>	玄関と各フロアー入口に額に入れて掲げ、 スタッフ全員の名札に基本理念をつけて 共有し、実践を心がけている。		出されています。今後は,職員全体で理 念の振り返りを行い,理念の具体化に向
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	ホームでの行事や防災訓練に参加していただいたり、2月の節分の日には子供達にお菓子を提供したり、7月には地域のお祭りで、子供神輿をホームの玄関前で見せていただいています。交流を深めるよう努めています。	ホームは、町内会に加入されています。 入居者の誕生日会には、「三原やっさ踊り」のボランティアを招いて楽しまれています。また、災害に備えて地域との協力体制を築かれています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	町内会に入会している。災害時には、地域 の方々の一時避難場所としての提供を考 えている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や 話し合いを行い、そこでの意見をサービス 向上に活かしている。	を行っている。	委員, 町内会長, 地域包括支援センター 職員, 市職員等の参加があります。現在	議を利用しながら、より地域に協力を得られる体制づくりに取り組まれることを提
5	4	〇市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議に参加していただき、分からない事などはその都度相談させていただいている。		

<b>4</b> -	H AD		自己評価	外部	評価
自己評価	外部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
6	5	〇身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護 予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	スタッフ全員が理解し、身体拘束をしない 取組みを行なっている。身体拘束の研修 会にも参加している。	職員は、「ちょっと待って」や「そのまま動かないで」など、入居者の行動を制限する言葉は使わないよう配慮されています。また、相手を制止させる言葉がけが必要と判断した場合には、説明等を行い、了解を得ておられます。	
7		O虐待の防止の徹底 管理者や職員は, 高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち, 利用者の自宅や事業 所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い, 防止に努めている。	管理者、スタッフ全員で虐待防止について 常に注意を払っている。研修会にも参加し ている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見人制度を利用されている利用者 がおられる為、スタッフには説明を行なっ ている。		
9		<ul><li>○契約に関する説明と納得</li><li>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</li></ul>	契約の際は、管理者が重要事項の説明と 共に、契約書の内容についての質問・疑 問を納得されるよう説明している。		
10	6	○運営に関する利用者,家族等意見の反映 利用者や家族等が意見,要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け,それらを運営に反映させている。	運営推進会議に家族代表の方にも参加していただき意見を出す機会を設けている。また玄関入口に「意見箱」を置いています。入居者様には会話を通して希望などをお聞きしています。	言える雰囲気づくりに努めておられます。 家族の訪問時には、意見や要望を聞か	

	ᆈᇸ		自己評価	外部	評価	
自己 評価	外部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意 見や提案を聞く機会を設け、反映させてい る。	月に一度フロアーミーティングを行い、職員の意見や提案など話し合う機会を設けたり、個人面談を行い運営に反映させている。	毎月のミーティングで、職員と意見交換されています。また、年1~2回、統括とオーナーによる職員面談が実施され、意見や提案を個別に聞く機会も設けられています。これまでに出された意見や提案をもとに、処遇改善や職員のスキルアップ、リードできる職員育成などに取り組み、働きやすい職場環境づくりに努力されています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実 績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って 働けるよう職場環境・条件の整備に努めて いる。	職員個々の面談を行い、懸命に努めています。			
13		〇職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケア の実際と力量を把握し、法人内外の研修を 受ける機会の確保や、働きながらトレーニ ングしていくことを進めている。	施設内、施設外の研修へ参加出来るよう 配慮しています。			
14			わずかであるが、交流する機会が増えて きたので、今後も交流する機会を作ってい きたい。			
Ⅱ安	安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		困っていること,不安なこと,要望等に耳	入居される前にご本人に見学していただき、管理者、ケアマネ、フロアリーダーが本人より不安な事など要望を聞き、関係作りに努めている。			

	L1 +0		自己評価	外部	評価
自己 評価	外部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
		○初期に築く家族等との信頼関係			
16		サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に 耳を傾けながら、関係づくりに努めてい る。	入居前に見学をしていただき、ご家族等が 困っている事、不安な事、要望等を聞かせ ていただき、関係作りに努めている。		
		○初期対応の見極めと支援			
17		サービスの利用を開始する段階で、本人と 家族等が「その時」まず必要としている支 援を見極め、他のサービス利用も含めた対 応に努めている。	ご本人、ご家族の話をよく聞き、必要とさ れる支援に対応するよう努めている。		
		〇本人と共に過ごし支えあう関係			
18		職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	入居者の方に出来る事や可能な事などお 願いし、スタッフが一緒に行なっている。		
		○本人を共に支えあう家族との関係			
19		職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、 共に本人を支えていく関係を築いている。	消耗品、物品の持参をしていただく協力をお願いし、定期的に面会に来ていただき、 外出・外泊の支援もさせていただいている。		
		○馴染みの人や場との関係継続の支援		同級生や友人,知人の訪問があります。	
20	8	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人 や場所との関係が途切れないよう, 支援に 努めている。		家族の協力を得て、墓参りや美容院に出	

4-	된 호		自己評価	外部	評価
自己 評価	外部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
		〇利用者同士の関係の支援			
21			利用者一人ひとりの関係を把握し、無理な く関わりながら生活が出来るよう支援に努 めている。		
		〇関係を断ち切らない取組み			
22			サービスが終了しても本人、家族の相談など対応出来るよう支援に努めている。		
Ⅲ そ(	の人らし	い暮らしを続けるためのケアマネジメント			
		○思いや意向の把握		때문다 모두이스러나스라 보보기 때문	
23	9	一人ひとりの思いや暮らし方の希望, 意向 の把握に努めている。困難な場合は,本人 本位に検討している。	入居者本人の要望・意向を家族と共に定 期的に話をして支援している。	職員は、日々の会話や行動、表情から思いや意向の把握に努めておられます。また、ケアプランをもとに、入居者ごとにミーティングを実施し、職員全体で情報の共有を図り、きめ細やかな支援に繋げる努力をされています。	
		〇これまでの暮らしの把握			
24		一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方, 生活環境,これまでのサービス利用の経過 等の把握に努めている。	アセスメント情報交換を行い、生活歴やな じみの暮らし方など本人との会話などから 聞き出し、把握に努めている。		
		○暮らしの現状の把握			
25		一人ひとりの一日の過ごし方,心身状態, 有する力等の現状の把握に努めている。	日常生活を過ごしていく中で、心身の状態 や身体機能の現状を把握するよう努めて いる。		

	F1 40		自己評価	外部	評価
自己 評価	外部 評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	カンファレンスや関係者への相談、家族からの聞き取りなどから、ケアプランの作成をケアマネを中心に担当スタッフと一緒に作成する。	を照らし合わせ、本人の希望が組み込ま	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果,気づきや 工夫を個別記録に記入し,職員間で情報を 共有しながら実践や介護計画の見直しに活 かしている。	個別記録内容を充実させたり、申し送り ノートを活用し、スタッフ間での情報交換を 行っている。		
28		〇一人ひとりを支えるための事業所の多機能化本人や家族の状況,その時々に生まれるニーズに対応して,既存のサービスに捉われない,柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	本人や家族のニーズの変化に対応して希望に近づけるように対応し、支援サービスに取り組んでいる。		
29			ボランティアの受け入れや地域の方の見 学などに対応している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している。	かかりつけ医の往診を受け入れ、転院の際には、紹介状の依頼をしている。家族付き添いの受診時には、主治医宛に体調や状況を文章で伝え、適切な医療を受けられるよう配慮している。	入居者は、これまでのかかりつけ医や協力医療機関で受診されています。また、月1~2回の往診があり、医師と連携を図りながら入居者の健康管理に努めておられます。さらに、歯科による往診が週1~2回あります。	

			自己評価	外部	評価
自己 評価	外部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
		○看護職員との協働			
31		介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	異常時には各フロアーの看護師に伝えて相談し、かかりつけ医に連絡し指示を受ける事により、適切なケアが行えるよう努めている。		
		○入退院時の医療機関との協働			
32		利用者が入院した際,安心して治療できるように,また,できるだけ早期に退院できるように,病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は,そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ケアマネージャーとソーシャルワーカーと の情報交換や相談を充実させるよう努め ている。		
		〇重度化や終末期に向けた方針の共有と支援			
33	12		将来的には看取りを行なう予定であるが、 現在は行なっていない。	入居時にホームの対応,方針を説明されています。また,状態の変化が見られた場合は,家族の精神面にも考慮しながら,ホームで対応が可能な段階まで支援されています。	
		○急変や事故発生時の備え			
34		利用者の急変や事故発生時に備えて,全て の職員は応急手当や初期対応の訓練を定期 的に行い,実践力を身に付けている。	AED研修や救急マニュアルを活用して、十分ではないが、実践力を身につけてきている。		
		〇災害対策		津波による災害訓練では、避難完了まで	
35	13	わず利用者が避難できる方法を全職員が身	避難訓練の実施。火災、水害の場合の避難場所を決めている。地震、津波時の訓練の実施や避難経路マップを作成している。	のタイムを計測し、入居者を含め全員が 慌てず速やかに避難するための具体的 な訓練を実施されています。また、地域 で災害が発生した場合には、ホーム建物 を一時避難場所として利用できることを 地域に伝えるなど、協力体制を築いてお られます。	

<u>4</u> 7	Ы 호I		自己評価	外部	評価
自己 評価	外部 評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
₩ その	の人らし	い暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	<ul><li>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</li><li>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。</li></ul>	入居者一人ひとりを自分の身内に置きかえて、不快な思いをさせないよう尊重し、 日々穏やかに過ごせるよう丁寧で優しく対 応するよう努めている。	職員は、一人ひとりのペースに合わせ、 無理強いしない言葉かけや対応になって いるか常に振り返りながら支援されてい ます。また、入居者の尊厳を大切にしな がら、精神面にも配慮されています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表した り, 自己決定できるように働きかけてい る。	思いや希望を表しやすいように、日常生活 の中で働きかけたり雰囲気作りに努めて いる。		
38		く、一人ひとりのペースを大切にし、その	ケアの状況によっては、職員側の都合を 優先することもあるが、常に個人の思いを 尊重し、無理の無い生活を支援できるよう 心がけている。		
39		<b>〇身だしなみやおしゃれの支援</b> その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	身だしなみやおしゃれをしていただくよう声掛けを行なったり、困難な方には身だしなみが整えられるよう支援している。		
40	15		食事前のテーブル拭きをしていただいたり、本日の献立の話をしたりして、食事を楽しめるよう配慮している。	クックチルの食事を取り入れ、ホームで加熱、盛りつけされています。また、入居者の状態に合わせ、ミキサーや刻み、粥食で対応したり、盛りつけにも工夫したりされています。食卓椅子が高い人には足台の設置や、自助具を利用し自立を促すなど、できる限り自分の力で食事を楽しめるよう工夫されています。	(1ユニット)

	<del></del>		自己評価	外部	評価
自己評価	外部 評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
		〇栄養摂取や水分確保の支援			
41		食べる量や栄養バランス,水分量が一日を 通じて確保できるよう,一人ひとりの状態 や力,習慣に応じた支援をしている。	食事摂取量、水分量のチェック表を使用 し、1日に必要な量が確保、維持出来るよ う努めている。		
		〇口腔内の清潔保持			
42		口の中の汚れや臭いが生じないよう, 毎食後, 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	一人ひとりの口腔内、残歯、義歯に合わせたケアを毎食後、支援・見守り・声掛けを 行なっている。口腔体操を日常的に行なっている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄確認シートを活用し、一人ひとりの排 泄パターンを把握するよう努め支援を行 なっている。	排泄チェック表を活用し、入居者一人ひとりの排泄間隔を把握し、トイレ誘導されています。職員は、「自分らしく、安心して生活が送れるように心に添った暮らしを提供します」の理念を意識しながら、プライバシーにも配慮したケアに努めておられます。	
		○便秘の予防と対応			
44		便秘の原因や及ぼす影響を理解し,飲食物の工夫や運動への働きかけ等,個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便状況の確認をし、便秘傾向の方には 薬剤と乳製品の摂取や看護師、Drに相談 しながら便秘予防に努めている。		
		〇入浴を楽しむことができる支援			
45	17	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて 入浴を楽しめるように,職員の都合で曜日 や時間帯を決めてしまわずに,個々に応じ た入浴の支援をしている。	入居者からの要望や気分を尊重し、無理 なく個々に応じた入浴の支援をしている。	風呂は個浴で,週2~3回を基本に提供されています。入居者のこれまでの習慣等を本人や家族から聞き,個々の希望に合わせて支援されています。	

	는 다		自己評価	外部	評価
自己 評価	外部 評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
46		<ul><li>○安眠や休息の支援</li><li>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</li></ul>	日々の体調を把握しながら、一人ひとりの 状況に応じて、安心して休息や臥床が出 来るよう配慮している。		
47		<ul><li>○服薬支援</li><li>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用,用法や用量について理解しており,服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</li></ul>	一人ひとり処方される薬の説明書はファイリングし、必要時は確認している。個々にあった服薬援助を行い、症状や副作用の観察を行なっている。		
48		○役割,楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	張り合いや喜びを感じたり、気分転換が図れるように、各個人に合った役割を提供できるよう支援している。		
49	18	に出かけられるよう支援に努めている。ま	季節に合わせた行事を計画、実行したり、 家族の協力を得て、外出をしていただいた り、状況を見て戸外へ散歩できるよう努め ている。	近隣の川土手に咲く花を鑑賞しながら散歩を楽しまれています。また、桜の名所に出かけるなど、季節を味わないながら気分転換を図っておられます。さらに、職員付き添いのもと、スーパーマーケットへ買い物に出かけるなど、外出が日常の楽しみとなるよう支援されています。	
50		〇お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを 理解しており、一人ひとりの希望や力に応 じて、お金を所持したり使えるように支援 している。	入居者全員、預り金があり、事務所で管理 している。本人の希望に応じて使用でき る。		

4.7	<b>⊢.</b>   <b>+</b> □		自己評価	外部	評価
自己評価	外部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
		○電話や手紙の支援			
51		家族や大切な人に本人自らが電話をした り, 手紙のやり取りができるように支援を している。	本人の希望時は、いつでも電話を使用で きる環境にある。		
52	19	堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって	共有スペースは過ごしやすいように物の 配置など工夫している。季節感や生活感 などを取り入れる事で、居心地良く過ごせ るようにしている。	台所とリビングが対面で、食事の準備時には調理の音や良い匂いがし、生活感があります。テーブルやソファの配置を入居者と職員が一緒に考えるなど、入居者が自分の住まいと思える環境づくりに取り組まれています。	
		〇共用空間における一人ひとりの居場所づくり			
53		共用空間の中で、独りになれたり、気の	テレビ前にソファーを置き、テレビを観たり、他の入居者の方と一緒に過ごせるようにしている。		
		〇居心地よく過ごせる居室の配慮		居室には、洗面台、エアコンが備えつけ	
54	20		本人と家族と相談し、本人が居心地良く生活が出来るよう配慮している。	られています。入居者は、使い慣れた箪	
		〇一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり			
55		建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	建物全体は、安全に過ごせるよう環境の整備に努めている。室内は本人の使いやすいように物品を配置している。		

∇ アウ	アトカム項目(1ユニット)		
			①ほぼ全ての利用者の
		0	②利用者の3分の2くらいの
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。		③利用者の3分の1くらいの
			④ほとんど掴んでいない
		0	①毎日ある
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		②数日に1回程度ある
57	利用者と職員が,一緒にゆったりと過ごす場面がある		③たまにある
			④ほとんどない
			①ほぼ全ての利用者が
58		0	②利用者の3分の2くらいが
38	利用者は,一人ひとりのペースで暮らしている		③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
			①ほぼ全ての利用者が
59	利用者は,職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	0	②利用者の3分の2くらいが
59			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
			①ほぼ全ての利用者が
60	  利用者は,戸外への行きたいところへ出かけている		②利用者の3分の2くらいが
00	利用省は、戸外への行きたいとこつへ出かけている	0	③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
		0	①ほぼ全ての利用者が
61	  利用者は,健康管理や医療面,安全面で不安なく過ごせている		②利用者の3分の2くらいが
01			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
		0	①ほぼ全ての利用者が
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して		②利用者の3分の2くらいが
02	暮らせている		③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
			①ほぼ全ての家族と
63	職員は,家族が困っていること,不安なこと,求めていることをよく聴いて	0	②家族の3分の2くらいと
บง	おり、信頼関係ができている		③家族の3分の1くらいと
			④ほとんどできていない

			①ほぼ毎日のように
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来てい		②数日に1回程度
04	ব		③たまに
		0	④ほとんどない
			①大いに増えている
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がり	0	②少しずつ増えている
00	や深まりがあり,事業所の理解者や応援者が増えている		③あまり増えていない
			④全くいない
			①ほぼ全ての職員が
66	職員は,活き活きと働けている	0	②職員の3分の2くらいが
00			③職員の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
			①ほぼ全ての利用者が
67	  職員から見て,利用者はサービスにおおむね満足していると思う	0	②利用者の3分の2くらいが
07	戦員から元で、利用省はサービスにおおむな神足していると述す		③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
			①ほぼ全ての家族等が
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思	0	②家族等の3分の2くらいが
00	<u>อ</u> ้		③家族等の3分の1くらいが
			④ほとんどできていない

	₩ <b>₩</b>		自己評価	外部評	<b>平</b> 価			
自己評価		項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容			
I 理	理念に基づく運営(2ユニット)							
		〇理念の共有と実践						
1	1	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業 所理念をつくり,管理者と職員は,その理 念を共有して実践につなげている。	入社時および毎月のフロアーミーティング でも理念について話し合い、実践に努めて いる。					
		○事業所と地域とのつきあい						
2	2	利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう,事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の方と一緒に行事を行い交流を図っている。					
		○事業所の力を活かした地域貢献						
3		事業所は,実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を,地域の人々に向けて活かしている。	まだあまり活動出来ていないが、公民館がない為、要望があれば場所を提供し、介護予防教室など開いていきたい。					
		○運営推進会議を活かした取組み						
4	3		2ヶ月毎に会議を開いており、意見交換を 行い、サービスの向上に取り組んでいる。					
		〇市町との連携						
5	4	市町担当者と日頃から連絡を密に取り,事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら,協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議に参加していただき、その 都度不明な点は相談させていただいてい る。					

	<b>Ы ⊅</b> П		自己評価	外部評	<b>平</b> 価
自己評価	外部 評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
6	5	〇身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護 予防サービス指定基準における禁止の対象 となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束について勉強会を行なっている。		
7			虐待防止についての施設外勉強会に参加 している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や 成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、それら を活用できるよう支援している。	成年後見人制度について勉強会を行なっ ている。		
9			ご家族に十分な説明を行なっており、不安 な事や疑問点にも随時対応出来る体制に なっている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議や意見箱および面会時など で、意見・要望を随時受け付けている。		

4 7	L.I +0		自己評価	外部記	平価
自己評価		項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
		○運営に関する職員意見の反映			
11	7	代表者や管理者は,運営に関する職員の意 見や提案を聞く機会を設け,反映させてい る。	フロアーミーティングおよび個別でヒアリン グを行い対応している。		
12		O就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実 績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時 間、やりがいなど、各自が向上心を持って 働けるよう職場環境・条件の整備に努めて いる。	懸命に努めている。		
13			施設内、施設外への研修に参加出来るように配慮している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	推進会議に参加させていただき交流を深め、勉強会などにも参加していく予定。		
Ⅱ安	心と信頼	に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が 困っていること、不安なこと、要望等に耳 を傾けながら、本人の安心を確保するため の関係づくりに努めている。	入居前に必ず、利用者さんに来所してい ただき、不安な点や要望を傾聴している。		

	£1 +n		自己評価	外部評	<b>P</b> 価
自己評価	外部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居前、可能な限り見学に来ていただき、 入居後の不安な点や要望を傾聴してい る。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と 家族等が「その時」まず必要としている支 援を見極め、他のサービス利用も含めた対 応に努めている。	本人および家族の方々が気軽に意見を 言っていただけるよう、信頼関係に努めて いる。		
18		<ul><li>○本人と共に過ごし支えあう関係</li><li>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</li></ul>	職員は利用者さんと対等な立場で接する よう指導している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族と本人のつながりが保てるよう、面 会や外出の機会を設け、必要であれば職 員も同行している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人 や場所との関係が途切れないよう,支援に 努めている。	ご家族以外の友人にも面会に来ていただいている。場所については、ご家族に協力を得たり、職員が同行している。		

<b>4</b> -	ᆈᇷ		自己評価	外部評	平価
自己 評価	外部 評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
		〇利用者同士の関係の支援			
21		利用者同士の関係を把握し,一人ひとりが 孤立せずに利用者同士が関わり合い,支え 合えるような支援に努めている。	居室にこもりきらないよう、声掛けを行なっ ている。		
		○関係を断ち切らない取組み			
22		サービス利用(契約)が終了しても,これまでの関係性を大切にしながら,必要に応じて本人・家族の経過をフォローし,相談や支援に努めている。	随時、必要に応じたフォローや相談を受け付けている。		
Ⅲ そ(	の人らし	い暮らしを続けるためのケアマネジメント			
		〇思いや意向の把握			
23	9	一人ひとりの思いや暮らし方の希望, 意向の把握に努めている。困難な場合は, 本人本位に検討している。	本人の意思を尊重し、それに対応出来るよう努めている。		
		〇これまでの暮らしの把握			
24			本人、ご家族の方より入居前の生活歴や 趣味など伺って対応している。		
		○暮らしの現状の把握			
25		一人ひとりの一日の過ごし方,心身状態, 有する力等の現状の把握に努めている。	日々の様子観察を行い、記録に残し、職員にも申し送りなどで把握に努めている。		

	L.I +0		自己評価	外部評	<b>平</b> 価
自己 評価	外部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
		〇チームでつくる介護計画とモニタリング			
26	10	あり方について,本人,家族,必要な関係	フロアーミーティングやサービス担当者会 議などで、課題の抽出、見直し等行なって いる。		
		〇個別の記録と実践への反映			
27		日々の様子やケアの実践・結果,気づきや 工夫を個別記録に記入し,職員間で情報を 共有しながら実践や介護計画の見直しに活 かしている。	モニタリングの実施や個別記録の記入、 ミーティングなどで情報の共有を図り、介 護計画の見直しなど把握に努めている。		
		〇一人ひとりを支えるための事業所の多機能化			
28		本人や家族の状況,その時々に生まれる ニーズに対応して,既存のサービスに捉われない,柔軟な支援やサービスの多機能化 に取り組んでいる。	地域のサービスやボランティアを利用している。		
		〇地域資源との協働			
29			推進会議で意見交換を行い、地域の情報 を収集し活かせるよう努めている。		
		〇かかりつけ医の受診診断			
30	11	受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している。	各々の主治医と連携しながら、必ず受診には主治医に情報提供を行い、適切な医療を受けられるよう支援している。		

4-7	니 #17		自己評価	外部評	平価
自己評価		項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
		○看護職員との協働			
31		介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日々の経過観察の中で、職場の看護師と 連携しながら異常時の早期発見に努めて いる。		
		〇入退院時の医療機関との協働			
32		利用者が入院した際,安心して治療できるように,また,できるだけ早期に退院できるように,病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は,そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時必ず、利用者の情報提供を行なっている。入院中も面会に行くなどして情報 交換や相談に努めている。		
		○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援			
33	12	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	今後の課題で、具体的には話し合えていないが、早期に話し合いの場を持つ予定である。		
		○急変や事故発生時の備え			
34		利用者の急変や事故発生時に備えて,全て の職員は応急手当や初期対応の訓練を定期 的に行い,実践力を身に付けている。	勉強会を行なっている。		
		〇災害対策			
35	13		避難訓練の定期的な実施。避難場所や地域の方との協力体制は出来ている。		

4-7	니 #1		自己評価	外部評	<u>F</u> 価				
自己評価		項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容				
₩ そ	その人らしい暮らしを続けるための日々の支援								
36	14	<ul><li>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</li><li>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。</li></ul>	日々の業務の中やミーティングで指導している。						
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表した り,自己決定できるように働きかけてい る。	利用者本位に努めている。						
38			利用者の体調に合わせて過ごしていただいている。						
39		<b>〇身だしなみやおしゃれの支援</b> その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	利用者に合わせて行なっている。						
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう,一人ひとりの好みや力を活かしながら,利用者と職員が一緒に準備や食事,片付けをしている。	担当者を決めてメニューを考えたり、手作 りのおやつの提供など、利用者の希望を 取り入れながら行なっている。						

	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
自己 評価			実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を 通じて確保できるよう、一人ひとりの状態 や力、習慣に応じた支援をしている。	一人一人に合わせて食事内容を提供し、 水分量も把握している。		
42		<ul><li>○口腔内の清潔保持</li><li>□の中の汚れや臭いが生じないよう,毎食後,一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</li></ul>	食後の口腔ケアの実施。歯科医師、歯科 衛生師との連携に努めている。		
43	16		時間をみてトイレの声掛けを行い、失敗の ないよう支援している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し,飲食物 の工夫や運動への働きかけ等,個々に応じ た予防に取り組んでいる。	乳製品の摂取や運動、定期的なトイレの 声掛けなど便秘予防に努めている。		
45	17		利用者さんの体調に合わせて入浴してい ただいている。		

4-7	外部評価	項目	自己評価 外部評価		平価
自己 評価			実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
46		<ul><li>○安眠や休息の支援</li><li>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</li></ul>	休息は利用者さんの意見や体調に合わせ て行なっている。夜間安眠を目指して、日 中の活動の場を設けている。		
47		<ul><li>○服薬支援</li><li>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用,用法や用量について理解しており,服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</li></ul>	個別の記録や薬の説明書および薬剤師と も連携して、服薬の支援を行なっている。		
48			その方の能力に応じた役割が持てるよう 心がけている。		
49	18		天候や利用者さんの状況をみて、散歩や 買い物を行なっている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	希望による買い物をしていただいている。 管理は職員や家族の方にしていただいて いる。		

4-7	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
自己評価			実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	本人の意思でいつでも自由に行なえてい る。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関,廊下,居間,台所,食堂,浴室,トイレ等)が,利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音,光,色,広さ,温度など)がないように配慮し,生活感や季節感を採り入れて,居心地よく過ごせるような工夫をしている。	温度・湿度の調整。心地良い空間作りを行 なっている。		
53		〇共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の 合った利用者同士で思い思いに過ごせるよ うな居場所の工夫をしている。	共有空間は、自由なスペースとして利用し ていただいている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人やご家族の方が持参されたものを使 用している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	利用者さんに分かりやすく表示を行い、自 分で出来る事はしていただけるよう支援し ている。		

 V アウ			
		0	①ほぼ全ての利用者の
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。		②利用者の3分の2くらいの
			③利用者の3分の1くらいの
			④ほとんど掴んでいない
		0	①毎日ある
			2数日に1回程度ある
57	利用者と職員が,一緒にゆったりと過ごす場面がある		③たまにある
			④ほとんどない
		0	①ほぼ全ての利用者が
58	利用者は,一人ひとりのペースで暮らしている		3利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
		0	①ほぼ全ての利用者が
	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている		②利用者の3分の2くらいが
59			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
			①ほぼ全ての利用者が
	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている		
60			
			4年とんどいない
		0	①ほぼ全ての利用者が
	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている		②利用者の3分の2くらいが
61			③利用者の3分の1くらいが
			<ul><li>④ほとんどいない</li></ul>
	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	0	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
62			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いて おり、信頼関係ができている	0	①ほぼ全ての家族と
			②家族の3分の2くらいと
63			③家族の3分の1くらいと
			<ul><li>④ほとんどできていない</li></ul>

		0	①ほぼ毎日のように
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		②数日に1回程度
04			③たまに
			④ほとんどない
	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がり や深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
65		0	②少しずつ増えている
00			③あまり増えていない
			④全くいない
	職員は、活き活きと働けている		①ほぼ全ての職員が
66			②職員の3分の2くらいが
00		0	③職員の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
	職員から見て,利用者はサービスにおおむね満足していると思う	0	①ほぼ全ての利用者が
67			②利用者の3分の2くらいが
07			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	0	①ほぼ全ての家族等が
68			②家族等の3分の2くらいが
00			③家族等の3分の1くらいが
			④ほとんどできていない

# 2 目標達成計画

事業所名 西町グループホーム 作成日 平成 27 年 6 月 5 日

【目標達成計画】

優先順位	項目	<sup>E风計画】</sup> 現状における 問題点,課題	目標	目標達成に向けた 具体的な取組み内容	目標達成に 要する期間
1	1	理念の見直し	サービス向上の意義を 踏まえた理念	全職員で理念作りに取り組む	1年
2	3	会議のメンバーなどの 見直し	各職種の方に参加して いただく	会議に参加が得られる よう,積極的に声かけ を行う	1年
3					
4					
5					
6					
7					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。 注2)項目数が足りない場合は、行を追加すること。